



高橋 八重典 議員  
政新会

# 問 第6波に向けた準備は

# 答 必要な人に必要な支援

第6波に向け、新型コロナウイルス感染症対策について以下を問う。

**問** 予約する際の不都合の改善は。

**答** 健康福祉部長 WEB予約の操作が分からない人などを対象に、予約受付コーナーを開設。

**問** 地場産業、中小企業、個人事業主への支援検証は。

**答** 市民生活部長 今後、効果が表れてくると考える。

**問** 支援と対策を検証した結果の総括は。

**答** 総務部長 市民や事業者への一助になったと認識。

**問** 3回目接種の予定は。

**答** 健康福祉部長 一般市民は、2月21日から個別医療機関で受け入れを準備。

**問** 支援格差の無い支援の準備は。

**答** 市民生活部長 真に支援が必要と考えられる人に支援。

**問** ダメージを受けた中小企業、個人事業主への支援は。

**答** 「あいスタ」認証店に10万円、認定農業者の収入減少に応じた支援金の交付。

**問** 今、特産品生産農家は、暖房経費増加が負担となっているが当市の支援は。

**答** 予定はない。JAは助成を実施。

**問** コロナ後遺症のケア体制は。

**答** 健康福祉部長 まずは、かかりつけ医に相談を。



新型コロナウイルス感染症後遺症リーフレット(東京都)

**問** コミュニティ存続の危機!!

**答** コミュニティの活性化推進を

コミュニティの現状と今後について以下を問う。

**問** 来年度以降、行事の再開が難しい所が出ているとの認識は。

**答** 市民協働課長 事業の見直しがさらに加速したと認識。

**問** 区長会のもと、住民総意であれば中止でも良いのか。

**答** やむを得ないと考える。

**問** 市が考える本来の意義は。

**答** 住民福祉の増進及び自主的なコミュニティ活動を目指す。

**問** 長年リーダー不在を放置して来た認識は。

**答** 核家族化や少子高齢化の影響が大きいと認識。

**問** 主体が個に変わっている認識は。

**答** 近所付き合いを好まない人が増加していると認識。

**問** どうしたら必要性を感じてもらえるか。

**答** 多様化する住民のニーズを把握し、様々な観点から見極めていく。

**問** 自主性を尊重する中でも、市が事業の骨子を決めるべきでは。

**答** 地域の実情に応じて柔軟な対応が必要。

**問** コミュニティの形成は喫緊の課題である。アフターコロナからの再構築は。

**答** 市長 地域と行政がパートナーとなり、コミュニティの活性化に取り組む必要がある。